

2008年12月13日

様

パナソニックの偽装派遣を告発し、解雇撤回・直接雇用を求める
佐藤昌子さんを支援する会(仮称)準備会
代表 宗形修一(ふくしま連帯ユニオン委員長)

**パナソニックの偽装派遣を告発し、解雇撤回・直接雇用を求める佐藤さんをご支援ください
「支援する会」及び「支援のつどい」へのご賛同、ご参加の要請**

パナソニック電工と子会社の派遣会社アロービジネスメイツは、パナソニック(旧松下)電工郡山ショールームで18年近く働いてきた佐藤さんの首切りを9月末に強行しました。佐藤さんは事務用機器操作などの名目で派遣社員とされてきましたが、実際はショールームでの展示品販売促進のために案内・説明業務などに携わってきました。天下の松下=パナソニックは派遣法に違反し長年にわたり偽装派遣を行ってきたのです。3人の子どもを育てながら、まじめに働いてきた佐藤さんに、仕事と生活の糧を奪われる理由などどこにもありません。彼女は「ハケンだからと使い捨ては許せない、このまま野垂れ死にするわけには行かない、パナソニックには私を直接雇用する義務がある」と、11月14日、パナソニックグループ3社を相手に雇用確認などを求めて福島地方裁判所に提訴しました。

今、自動車・電機産業をはじめ日本の大企業は、金融危機不況対策として派遣、期間労働者の大量首切りを開始しています。金融バブル崩壊にも企業経営にも何ら責任のない労働者が真っ先に犠牲にされているのです。こうした情勢の中で、勇気を奮い起こして立ち上がった佐藤昌子さんを支援する輪を広げ、ぜひとも勝利させたいと私たちは考えています。

巨大企業パナソニックを相手にした佐藤さんの裁判には本人の人生はもとより、日本の世界の幾千万の労働者の命運が、人間としてまともに働き生きていけるかどうか、かかっています。

この裁判を勝利するために、今日の状況に危機感を持つ広範な皆様のご支援・ご協力が不可欠です。

当面、下記のように開かれる「第1回公判」傍聴行動とともに、「支援する会結成」、「支援のつどい」へのご賛同、ご参加を要請いたします。また、この闘いの輪を大きくしていくために、全国からの「支援アピール」を発していきたいと思っておりますので、皆様のご協力・ご参加をお願いいたします。

記

1. 『派遣切り』は許さない！パナソニック裁判支援！労働者市民のつどい

- ・2009年2月8日(日)午後1時30分～4時 郡山市労働福祉会館
- ・内容 原告の訴え、弁護団報告、講演、コンサートを予定(詳細は後日お知らせ)

2. 『パナソニック裁判佐藤さんを支援する会』結成総会

- ・2009年2月8日(日)午後4時～4時30分 郡山市労働福祉会館

パナソニック裁判第1回公判

2009年1月9日(金)10時半 福島地裁郡山支部前集合
11時から公判傍聴 終了後 郡山市労働福祉会館に移動し総括集会開催

連絡先 [支援する会準備会] 福島県郡山市朝日1-20-8-101 ふくしま連帯ユニオン内
024-932-8059 fax921-3431 e-mail rentaiun@gmail.com

賛同します お名前 (所属)	連絡先(〒)	
	Tel fax	メール